

平成24年度水産研究所試験研究課題一覧

「研究開発実行計画」で掲げる技術開発の目標		研究課題名	研究内容	研究期間	担当	
「もうかる農林水産業」を実現する技術の開発	市場にひろがる「とくしまブランド」を育成する技術の開発	生産の増大を図る多収技術の開発	国産ヒジキの産地化を実現するヒジキ養殖技術の開発	海部郡沿岸でのヒジキ養殖を定着させるため、高品質ヒジキの生産技術を開発するとともに、品質向上や夾雑物対策、収穫時の判断等の技術を開発する。	H24～26	環境増養殖
		養殖技術研究	養殖漁業の振興を図るため、海藻類の養殖技術研究及び養殖漁場環境を調べる。	H12～	環境増養殖	
		増殖技術開発研究	磯根資源及び藻場の調査、増殖のための開発研究。	H12～	環境増養殖	
	生産性を高める省力・低コスト生産技術の開発	資源管理に必要な情報提供事業	新漁業管理体制下での適切な作業支援、調査体制の整備を図るため、沿岸域における漁海況情報の収集・分析・提供を行うとともに、地域レベルでの情報の提供を行う。	H9～	海洋生産技術	
		紀伊水道機船船びき網漁業の資源管理に関する情報提供事業	カタクチイワシシラスの漁況予測に関するデータの収集・解析及び計量魚探による音響調査を実施する。	H17～	海洋生産技術	
		沿岸シラスの最適漁場探索支援ツールの開発	漁業調査船や漁業者からのデータ等をもとにシラス魚群の動態を明らかにするとともに、他の機関が開発するツールを利用し、シラス漁場探索指針を開発する。	H23～25	海洋生産技術	
		小型底びき網漁業における省力・省エネ化技術の開発と普及	小型底びき網漁業の存続のため、低燃費と省力を実現する軽量・低コストの底びき網漁具を開発し、生産現場への導入を図る。	H24	海洋生産技術	
		市場で評価される高品質な農林水産物の生産技術の開発	栄養価の高い菌床シイタケ栽培技術の開発	ワカメ非食用部を有効利用し、栄養価の高い菌床シイタケの栽培技術を開発する。	H23～25	環境増養殖
	食の安全性を高める総合的な病害虫管理技術の開発	病害対策研究	魚類の病害の診断及び治療法を確立する。	H12～	海洋生産技術	
	消費者の健康志向に対応した生産技術の開発	有害・有毒プランクトンの被害防止対策	播磨灘における赤潮被害を防止するため、近隣県と共同で有害プランクトンの出現動向等を調査する。	H11～	環境増養殖	
		漁場環境保全対策調査研究	養殖漁場における水質及び底質の推移を把握し、その結果を基に適正な漁場利用を促進する。	S54～	環境増養殖	
	消費者の健康志向に対応した生産技術の開発	漁場環境監視等強化対策事業	赤潮、貝毒の被害防止対策を実施する。	S54～	環境増養殖	
	地球温暖化等から農林水産業を守る技術の開発	磯焼け対策緊急整備事業	播磨灘南部及び阿南地区に造成された藻場を対象に、食害対策や浮泥対策、種苗供給等の必要な措置を施した後、モニタリングを実施する。	H19～27	環境増養殖	
		「鳴門わかめ」ブランド維持拡大に向けた養殖技術の開発	高水温環境に適応した品種開発及び養殖技術の再検討により、漁場の有効利用、地球温暖化時代に対応したワカメ養殖技術について検討する。	H22～24	環境増養殖	

「研究開発実行計画」で掲げる技術開発の目標			研究課題名	研究内容	研究期間	担当
「もうかる農林水産業」を実現する技術の開発	市場にひろがる「とくしまブランド」を育成する技術の開発	地球温暖化等から農林水産業を守る技術の開発	新たなノリ色落ち対策技術開発	冬季の水温上昇と栄養塩の減少に伴うノリ・ワカメの色落ち発生に対応するため、栄養塩減少の要因及びワカメの色落ちのメカニズムを明らかにし、色落ち対策技術を開発する。	H22～26	環境増養殖、海洋生産技術
	市場をひろげ新需要を創出する技術の開発	農林水産物の付加価値を高める技術の開発	滅菌シャーベット氷を用いたシラス等小型魚の価値向上	広く普及している氷に比べて鮮度保持能力が優れている海水を原料としたシャーベット氷の特性を活かした鮮度保持処理を行うことにより、ブランド製品を作出する。	H22～24	海洋生産技術
	新技術の開発や研究を支える継続的基礎調査		資源評価調査	ABC(生物学的許容漁獲量)の決定と対象魚類の資源状態の把握を目的として、県内主要漁協における漁獲量やそのサイズを調査する。	H10～	海洋生産技術
			底生生物群集の資源生態把握調査	小型底びき網等の標本船調査及び主要漁協の漁獲統計調査と過去の情報を合わせたデータベース化により、紀伊水道域の漁業資源の動態をモニタリングする。	H13～	海洋生産技術
			包括的資源回復計画(紀伊水道小型底びき網漁業)作成推進調査	「徳島県小型底びき網漁業包括的資源回復計画」に即して、漁獲量等のモニタリングとデータ解析を行う。	H17～	海洋生産技術
			河川生産力有効利用調査研究	吉野川におけるアユの資源量調査の実施により、河川資源の有効利用に資する。	H2～	環境増養殖
遺伝資源の保存と優良種苗・種畜等の供給		カワバタモロコ種苗生産試験	絶滅危惧種であるカワバタモロコ(コイ科の淡水魚)の保護及び増殖を目的とした種苗生産を実施する。	H19～25	環境増養殖担当	